広げよう！子育ての輪

地域の大樹に！朽木学童保育所「どんぐり」

朽木学童保育所「どんぐり」は、昨年の9月に開所したばかりのできたてほやほやです。現在、9人の元気な子どもたちが、学校を終えると集団下校で登所しています。それぞれが自分のペースで宿題を終えると、外遊びや屋内遊びを楽しみます。毎日、同じメンバーが顔をそろえていると喧嘩も絶えませんが、指導員の先生がその都度「なぜ喧嘩になったのか」「仲直りするにはどうしたらいいか」と子どもたちに寄り添ってくださいます。

夏休みには〝毎日お弁当だとお母さんも大変だろう〟と、水曜日は「食育デー」と題して指導員さんが子どもたちと一緒にお昼ごはん作り。これは親も大助かりでした。また、夏ならではの遊びとして、ほぼ毎日小学校のプールに通ったり、森林公園「くつきの森」で魚つかみや川遊びを楽しみました。

「どんぐり」は、田んぼの横、地域の方々のお家の近く、そして地区の集会所と隣り合わせ、という位置にあります。そのため、周辺の方にご迷惑をかけることもありますが、皆さんに温かく見守っていただけるような学童保育所にしたいと願っています。

子どもたちには、身近な自然に触れ合いながら、時には涙を流すこともあるけれど、のびのびと自分の想いを出しながら育ち合う関係を作っていって欲しいと思います。保護者同士も子どもたちが赤ちゃんの頃からの顔見知り。親同士も仲良く助け合いながら地域の子どもたちの成長を見守っています。

子育てのチョッといい話

私の子育て

一度の流産の後、授かった我が子は未熟児でした。

平成18年初秋、秋篠宮紀子様と時を同じくして前置胎盤と診断され、妊娠33週でやむなく出産。出生体重1、546gの女児。小さな体にも関わらず、大きな産声を上げた時の感動は今でも忘れられません。保育器の中で眠る我が子はとても小さく、入院生活はとてつもなく長く感じられました。約1か月半後、退院してからは授乳や産着の洗濯、沐浴など、自分で何もかも世話ができることが何よりも幸せでした。

しかし、それもほんの束の間。抱っこや散歩を催促してはつなり、寝返りをうっては思いどおりにいかず叫びまくり、夫とのお風呂では号泣する我が子・・・。まるでどこかのお姫様のようで、わたしの生活は奴隷のようになりました。

離乳食が始まると、さらに自己主張はヒートアップ。好き嫌いが激しく、少しでも芯のあるお粥は受け付けず、口に合わなければべーっと吐き出し、全く食べないこともありました。わたしは何度ちゃぶ台をひっくり返して叫びたくなったことか・・・。

そんな娘ももう1歳。今では未熟児の面影は全くなくなり、高島の自然の中で、真っ黒に日焼けして元気いっぱい遊んでいます。

いつか来る巣立ちの時に思いを馳せながら、娘の後を追いかけている毎日です。

＝子育て支援センターへの問い合わせ＝

- ●マキノ地域（マキノ児童館内）☎(27)8187
- ●今津地域（今津東保育園内）☎(22)4833
- ●朽木地域（朽木保育園内）☎(38)2070
- ●安曇川地域（古賀保育園内）☎(33)1540
- ●高島地域（高島保育園内）☎(36)0660
- ●新旭地域（大師山さくら園内）☎(25)3399

シリーズ　学校に行けない③

不登校の相談、お聞きします

「教育相談・課題対応室」

不登校とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいは、したくともできない状況にあること。ただし、『病気』や『経済的な理由』によるものを除く。」と定義されています。（文部科学省）

市内の小中学校にも、学校に行きにくくなったり、欠席が続いたりするなど、不登校に悩んでいる子どもたちがいます。特に、思春期特有の不安定な時期にある中学生に多いのが特徴です。

不登校の子どもたちには、朝起きられない、登校時間になると頭痛や腹痛などを訴える、部屋に閉じこもりがちになる、特定の曜日に学校に行きたがらないなど、行動に変化が見られるようになってきます。不登校で最もつらい思いをするのは子ども自身です。早期に発見し、保護者と学校が連携して子どもたちを支援することが大切になってきます。

小中学校では、「不登校はどの児童生徒にも起こり得るものである」という視点に立って、不登校問題に適切に対応できる学校づくりに取り組んでいます。お子さまの気になる様子に気づかれましたら、早めに学校に相談してくださるようお願いします。

イラスト：ぽかぽか色

教育相談・課題対応室

いじめや不登校、友人関係、学習面のことなど、教育全般に関する相談に応じています。

お悩みの方は、お問い合わせください。

電話相談

8時30分～17時　☎(32)4406

面接相談

電話でご予約ください。

場　所

安曇川支所　2階（高島市教育委員会）

高島市教育支援センター「スマイル」

学校に行きたくても行けない子どもたちを対象に、学校生活への復帰や社会的自立を支援するための施設です。

活動内容

- ・悩みや不安の軽減を図るための個別相談
- ・集団への参加意欲を高め、自立を支援するための体験活動
- ・基礎的な学力を補充するための学習支援
- ・保護者や在籍校との連携

開所日時

月曜日～金曜日　9時30分～14時30分

連絡先

教育支援センター「スマイル」

9時～15時　☎(25)3161

学校教育課

8時30分～17時15分　☎(32)4471